

四月の詩

明日

水こし 町子

八十個の赤い花の球根を植えた
春になって
土の中で
芽を出せなかったのがある
花になりたかったはずだ

箱に入れて
つぼみばかり
今年も娘に送る

海の近くに住んでいる友達に
午後手紙を書く
小学校の前にあるポストに行く
途中

黒い猫が飼主と散歩をしている
キャンバスに黒い絵具
黒猫の絵になる
須磨の海になる
海の水のおいが好き
さわさわする風のおいが好き

海の上を走る長い道
キー・ウエスト
ヘミングウェイの記念館には
たくさんの猫がいる

明日
箱の中のつぼみは
夜通し
長距離トラックに乗ってきたことに
気づいているだろうか
キャンバスに赤い絵具
赤い花が満開になる